

会議録

会 議 の 名 称	第7回登米市上下水道事業運営審議会
開 催 日 時	令和6年10月30日(水) 13時30分 開会 15時15分 閉会
開 催 場 所	エスビー食品とよま蔵ジウム(登米総合体育館) 会議室
座 長 ( 議 長 )	会長 山田 一裕
出席者の氏名	佐藤修委員、及川由美子委員、木村千代委員、熊谷毅委員、 佐藤雅子委員、菅原昭委員、鈴木郁子委員、千葉慶起委員、 千葉秀子委員、沼倉芳雄委員 以上10名
欠席者の氏名	猪股圭太郎委員
事務局職員職氏名	上下水道部長 細川宏伸 上下水道部次長兼水道施設課長 鈴木安宏 (経営総務課) 佐々木課長、菅原補佐、小竹係長 石堂主事、高橋主事 (水道施設課) 高橋補佐 (下水道施設課) 星課長、杉田補佐
議 題	1 開会 2 会長挨拶 3 会議 (1) 会議録署名人の選任 (2) 登米市上下水道事業ビジョン策定について 4 報告 (1) 令和5年度水道事業会計決算の概要について (2) 令和5年度下水道事業会計決算の概要について 5 その他 6 閉会
会 議 結 果	別紙のとおり
会 議 経 過	別紙のとおり
会 議 資 料	資料1 登米市上下水道事業ビジョン策定について 資料2 令和5年度登米市水道事業会計決算の概要 資料3 令和5年度登米市下水道事業会計決算の概要 資料4 今後の審議会の予定 参考資料1 令和5年度登米市水道事業会計決算書 参考資料2 令和5年度登米市下水道事業会計決算書

発言者	発言要旨
【 1 開会】	
会議資料の確認後、開会を宣言。	
【 2 会長挨拶】	
<p>皆さんこんにちは。お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。</p> <p>登米市上下水道事業のビジョン策定について説明が行われ、また別の機会に審議がされる訳ですが、ビジョンについては、今後の上下水道事業のあり方、登米市の将来の方向性を決めていく大変重要な審議に当たります。</p> <p>資料にも記載あるとおり、後ほど担当部局から説明があろうかと思いますが、コンサル担当の方が基本的なところを作成するわけですが、この審議会にご参加いただいている委員の皆さんの発言、質問、懸念材料が、今後の登米市上下水道事業のあり方を決めていく大事な作業となりますので、是非忌憚ないご発言をいただければと思います。また、計画に盛り込む文言、フレーズがなければ予算も付けられないということもありますので、上下水道をどのようにしていきたいのか、ご発言をいただけたらと思います。それが結果的により良いビジョンの策定になるかと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。</p>	
【 3 事務局】	
これから会議に入りますが、審議会条例第 6 条第 1 項の規定により、会議の議長は審議会会長に努めていただくことになっておりますので、これより山田会長に議長をお願いいたします。	
【 4 会議】	
( 1 ) 会議録署名人の選任	
会長	<p>会議出席委員は過半数以上のため、審議会条例第 6 条 2 項の規定により、本会議が成立することを報告。</p> <p>会議録署名委員には、委員名簿順に従い、千葉慶起委員、千葉秀子委員を指名。</p> <p>審議会の公開、傍聴及び会議録の開示掲載については、「登米市審議会等の会議の公開に関する指針」第 4 条並びに第 7 条の規定により、傍聴席の設置と会議録をホームページに掲載し、公表することを説明。</p>
( 2 ) 登米市上下水道事業ビジョン策定について	
会長	「登米市上下水道事業ビジョン策定」について、事務局に説明を求めた。
事務局	(資料 1 に基づき説明)
会長	事務局から説明のあった内容についてご意見、ご質問あればお願いいたします。
委員	参考までに、日水コンへの業務委託費はいくらかかったのでしょうか。

事務局	契約金額でございますが、令和7年度末までの事業費として、49,500千円（税込み）となっております。
会長	ビジョン策定に関しては、審議会でも意見が出せるタイミングが限られていることかと思いますが、令和7年度にはだいたい何月頃、何回くらいを想定されていますか。
事務局	現在の進捗状況から考えますと、令和7年度の6月と10月頃になろうかと想定しております。
会長	例えば、パブリックコメントで意見をいただいた後にも、審議会での協議を行う必要があるかと思いますが、2月頃の審議会でも再び審議していくということよろしいですか。
事務局	はい。最終的にパブリックコメントを反映させた形でも、審議会にて審議していただきたいと考えております。
会長	分かりました。今回ビジョン策定を行いますが、登米市には総合計画など様々な計画等がありまして、どのような位置関係になっているのか、ご提示いただければ分かり易いと思いました。
事務局	次回の審議会にて、図示した形で、お示しできればと思います。
<b>(3) 令和5年度登米市水道事業会計決算の概要について</b>	
会長	「令和5年度登米市水道事業会計決算の概要」について、事務局に説明を求めた。
事務局	(資料2に基づき説明を行う)
会長	それでは、只今の内容についてご意見等ありましたら、ご発言をお願いいたします。
委員	水道事業会計決算書の13ページ（損益計算書中）の当年度未処分利益剰余金は、前年度繰越利益剰余金で2億3千万円となっております。今年度は3億3千8百万円とありますが、増加した理由は何ですか？
事務局	前年度繰越利益剰余金に、当年度純利益98,000千円が発生しましたので、合わせて3億3千8百万円となったところでございます。 なお、当金額については昨年度同様未処分として議会報告しております。
委員	分かりました。令和5年度は98,000千円の利益が出たからこのような金額になったということですね。昨年度は赤字計上となっておりますが、増加した要因は何ですか。
事務局	水道料金を改定したことにより、増加したというところです。

委員	<p>単年度で 98,000 千円の利益計上により、未処分利益剰余金も 3 億 3 千 8 百万円は表面的には良いのですが、中心的に見ますと、営業利益の段階で△ 1 億 2,800 千円ということで、既に営業の段階で赤字となっておりますよね。この赤字補てんは営業収益の中の長期前受金戻入で補てんされているのかと思いますが、この部分について詳しく教えていただけますか。</p> <p>長期前受金戻入は、減価償却、設備資金等に伴う減価償却が経費として発生した部分について最終的にその財源部分を利益に振り分け、戻し入れをしています。この辺をご説明いただければと思います。</p>
事務局	<p>今お話いただいたように、営業損失が△ 1 億 2,800 千円ございます。</p> <p>大きな要因ですが、営業費用の減価償却費が 11 億 7,000 千円ほどということで、登米市の場合かなり多くの資産を保有していることもありまして、減価償却費が長年積み上がり現在、11 億 7,000 千円ほどあるという状況になっております。</p> <p>先ほどの、営業外収益の長期前受金戻入ですけれども、こちらの財源ですが、補助金とか長期的に年度間で割って行って、それを積み上げて戻し入れしていくという会計制度になっております。毎年金額は変わってきますけれども、減価償却費と同じように今後も長期前受金戻入についても同じように推移していくというになっております。</p> <p>また、保呂羽浄水場再構築事業が終了しますと、減価償却や長期前受金戻入についても今よりも上がって推移していくものと見込んでおります。</p>
委員	<p>有収率が人口減少に伴い減少していっていますけれども、人工衛星を活用した漏水調査が行われているということで、現在漏水箇所の発見などは既にされているのでしょうか。</p>
事務局	<p>有収率の低下は経営に直結する課題でございます。現在は、解析を行っておりまして成果が出てくるのは、11 月中旬ということでしたので、その後漏水調査を行っていくところです。通常の包括業務の漏水調査も継続しつつ、本業務も行っていきますので、結果が出次第、本会議でも報告したいと思っております。</p>
委員	<p>給水人口が減っていくと給水収益も減っていくということで、料金改定を行って収支のバランスを取ったということでしょうか。今後益々人口減少も進んでいくと思われ、他の市町村と比較や分析、料金体系を考えているのか、今後料金改定をどう考えていくのかお聞かせ願います。</p>
事務局	<p>他の市町村の決算書等を参考にしながら、経営分析等は行っているところです。他の近隣市町村においても、人口減少に伴い給水収益が下がってきておりまして、水道料金改定を進めている近隣自治体もあるようです。</p> <p>今後も順次比較、分析をしながら進めてまいりたいと思います。</p>
会長	<p>決算書の最後のページに参考でも構いませんので、近隣自治体の動向を載せていただけると良いのかなと思います。</p>

委員	決算書 16 ページの貸借対照表にあります、長期貸付金 3 億円の内容についても一度ご説明をお願いします。また、36 ページの年間無効水量、漏水量が近い数値であることの理由を教えてください。
事務局	36 ページの年間無効水量、漏水量についてご説明いたします。年間の無効水量については、漏水量のことを指します。漏水量との間に約 7,000 m <sup>3</sup> の差がございますが、調定減額水量と言いまして、例えば家庭内で漏水をして修理した場合、水道料金を減額する措置を取った際の水量が含まれております。こちらについては、6,400 m <sup>3</sup> を占めておりまして、その他は不明な数値となっております。基本的には漏水量となります。 長期貸付金についてですが、令和元年度に病院事業会計へ 3 億円貸し付けたものです。貸付利率は年間 0.1% となっております、毎年 30 万円の利息をいただいております。令和 9 年度末に一括で償還を受けることになっております。
委員	回収の見込みはあるのでしょうか。
事務局	8 年間の貸付ですので投資となりますが、一般会計と病院部局と上下水道部局の 3 者契約をしておりますので、必ず返済される金額となります。
会長	先程も話題に上がりましたが、決算書 23 ページの人工衛星を活用した漏水調査の結果が出てくるということでしたが、面的にある程度の漏水範囲が特定できるような事態調査や工事が必要になると思っておりますが、一度に全ての工事等を行うのは難しいと思っております。どのような優先順位をつけて工事をしていくのか教えてください。
事務局	結果を見ながら管路の状態や漏水箇所の度合いなどを勘案しながら優先順位をつけていきたいと思っております。
会長	結果として出てくるデータにそういったデータも記載されて出てくるのでしょうか。
事務局	漏水量までは出てこなかったと思っております。様々な勘案をしながら対応していきたいと考えております。
会長	これまでの漏水調査も理にかなった調査だったと思っております。また人工衛星を活用した技術についても、時代に合ったものですので期待したいところですが、費用対効果なども含めて後でしっかり評価できるようにデータを整理していただければと思っております。
(4) 令和 5 年度登米市下水道事業会計決算の概要について	
会長	「令和 5 年度登米市下水道事業会計決算の概要」について、事務局に説明を求めた。

事務局	(資料3に基づき説明を行う)
会長	只今の下水道事業決算について、ご質問ご意見がありましたらお願いいたします。
委員	<p>下水道事業は大変厳しい状況とっております。昨年10月の下水道使用料の改定を受けて、当面の間は一般会計からの繰入金で19億円程度で推移すると記載があります。</p> <p>ネットで確認して驚いたことがあります。国からの補助金で「社会資本整備交付金」というものがございまして。この交付金は下水道の経費の内、雨水のもの以外の処理負担の公費負担を今後ゼロにする計画を策定しない自治体には、今後交付金は出さない、という国の通知があったというのをネットで見まして、今後公費負担、市として公費負担が今後10年でゼロとなるようなことが特定できるのかなと凄く疑問でした。</p> <p>国の対応がすごく厳しいものではあるんですが、今後、市として公費負担がゼロとなるようなことができるものか、と凄く疑問に感じているんですが、この辺は今後10箇年でどのように計画を立てていきますか。</p>
事務局	<p>下水道も都市部と地方でかなり経営の実態が違っておりましたは、登米市などにつきましては、広く沢山の管路を入れており、使用料収入も少ない経営効率としては、恵まれていない自治体になっております。</p> <p>使用料収入については、8億円程度といったところでして、これを全て使用料で賄おうと思うと、3倍強の使用料になってしまうというところで、現実的に無理があります。ただ、繰入金にも基準内繰入と基準外繰入とがありまして、例えば雨水処理については全額一般会計からお金をいただくなどと、使用料関係なく、繰入の対象となっております。また、起債の償還についても49%ほど、基準内繰入の対象となっております。起債の償還に交付金が当たるというようになっております。</p> <p>今後、使用料については基準外を減らす面でも上げていかざるを得ない側面と、起債の償還金がかかなりの部分を占めておりますので、維持管理経費や施設の統廃合などを行って、経費を削減していく、使用料は申し訳ないですが上げていくといったところで、国の定める方針になるべく近づけていかないといけないと思っております。ただ、登米市の現状からすると極めて難しい課題だとも思っておりますので、繰入基準を見直していくなどして対応しなければならぬと思っております。</p>
会長	今度、上下水道ビジョンを策定するに当たって、今のご指摘の内容にも当然触れることになると思います。どういう方針を立てるかが大事だと思いますが、それはどこで議論される予定なんですか。コンサルさんと練っていくんですか。それともこの場で議論していくんですか。
事務局	どのように財政計画を持っていくかの部分については、事務局で考えながら審議会や議会とか、市長・副市長に相談しながら、今後の見通しを立てていくこととなります。

会長	<p>日水コンさんは全国で展開されている事業者ですので、登米市との類似する他団体の情報なども沢山分かっていると思いますので、国の方針に対して先進的にアイデアが出ているようでしたら、反映していただくように働きかけながら良いビジョンに仕向けていただくと良いと思います。</p>
委員	<p>キャッシュフローについてですが、キャッシュフローのコメント欄が水道事業と同じ内容になっております。これでいいのか、お聞かせください。</p>
事務局	<p>上から順に業務活動（黒字）、投資活動（赤字）、財務活動（赤字）とありまして同じ形式で決算となっておりますので、同じ活動で同じ形の決算でしたので、統一性を図る面で同じコメントといたしました。</p>
委員	<p>人口減少については、市の指標ですと平成 27 年度から 5 年間で 6 千人減少しています。その前の 5 年間は 4 千人です。令和 5 年度の結果はまだ分かりませんが、毎年度人口減少が進むと思いますが、市制 20 周年を前に人口減少が先に予測されておりました。たんですが、だいぶ加速しているようなお話を聞きますので、ビジョン策定にも影響を及ぼすものだと思いますので、人口の動向を見ていただいておりますと大変参考になると思いますので、併せて掲示いただければと思います。</p>
会長	<p>それでは事務局の方で次回以降の会議で、その辺をお示しいただければと思います。</p>
委員	<p>料金の未納が問題になってこないのかなと思っていますが、水道では令和 4 年から 5 年までは増加しています。督促状を発送したり給水停止をしたり、あるいは、納付しませんというのが増えていると。これは、料金の改定によって未納件数が増えていると思いますが、その辺はどうなんでしょうか。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおり、昨年度に比べまして水道料金の未収額が増えています。水道料金の分母と分子の関係で、未収 1 件当たりの金額も増加しておりますので、未収額が増加している様にも見えます。不納欠損の前年度の未収金の回収についても、ほぼ 99.9%の方にはお支払いいただいている状況ですので、皆様に御協力いただいておりますと感じております。またお客様センターの皆様にも様々な対策をしていただきながら、未収減少に向けて取り組んでおりました、回収率はかなり高い水準かなと思っております。</p>
会長	<p>今の話は、下水道使用料も水道料金と同時に回収しているので、同じ状況ですということですか。</p>
事務局	<p>若干補足させていただきますと、水道については未納だと水道を止められるという環境もありまして、かなり納めていただいております。現状ですと、未納は自己破産者などとなっております。令和 4 年度については極めて少ない年でございまして、ここ数年の平均が 20 万円程度でしたので、ほぼ未納部分についてはこれ以上にならないくらい上がっていると</p>

	思っております。
【5 その他】	
今後の審議会の予定について	
会長	「今後の審議会の予定」について、事務局に説明を求めた。
事務局	(資料4に基づき説明を行う)
【6 閉会】	
副会長	大変お疲れ様でした。皆様には健康に留意されましてお過ごしいただきたいと思います。今日は、上下水道ビジョンの策定と令和5年度上下水道決算についての報告でございました。次回以降についても、事務局からご案内があるので皆様におかれましては、是非忌憚のないご意見をいただければと思います。本日はお疲れ様でした。

会議録署名人

会議録署名人